失業者支援／子どもオンブズパーソンの役割

片山　薫（市民カエル）

❶(ア)市から失業者への支援は。ホームページで税の減免などの発信を。(イ)福祉総合相談窓口の設置に向けて市民部と福祉保健部の連携を。(ウ)新型コロナウイルス対策のため、税の減免や納期限延長を国へ要望せよ。

部長　(ア)減免制度はホームページで周知している。(イ)総合連携を強めたい。(ウ)必要に応じて考える。

❷(ア)自分の力を出せるお産がその後の子育てや生き方に関わる。産後ケアにつながる産前サポートと考えられる施策は何か。(イ)宿泊のケアだけでなくデイケアも重要と聞く。実績がある助産院との連携と研修を。

課長　(ア)主なものとして、妊婦面談が挙げられる。(イ)連携は必要と認識している。

❸(ア)子どもオンブズパーソンの講演会に参加した成果は。(イ)子どもの権利に関する庁内研修会はあるか。(ウ)子どもオンブズパーソンは相談・救済だけでなく、権利推進に向け制度を変える役割がある。市でも、推進役のオンブズパーソンの設置が必要ではないか。

部長　(ア)今後の子ども施策に大変参考となった。(イ)子どもの権利条約等の理解を深めるため実施した。今後も機会を設けたい。(ウ)役割が複数あると学んだため、今後考える必要がある。

公園・緑地の維持管理に十分な予算措置を

篠原ひろし（改革連合）

宅地開発に伴い提供された緑地や寄附された緑地が数多くあるが、維持管理が行き届かず放置状態になり、近隣から景観、保安上の苦情が寄せられている。特に樹木の育ち過ぎによって、落葉の時期には毎日枯れ葉掃除に追われているとの切実な声が寄せられている。高齢者世帯は更に深刻で、屋根や樋に降り注いだ枯れ葉の掃除ができず、樋が詰まり、雨の溢水で壁が傷むなど財産権の侵害ともいえるような場所も多くある。水とみどりを謳う小金井市で、これらの犠牲を伴うことはあってはならない。公園緑地費を増額し、これらの苦情に対処でき得る予算を計上してもらいたい。

部長　樹木を剪定してほしい旨の要望は頻繁にあるが、特に多い相談は、大木の管理に係る費用である。特に、住宅に近接している大木については、台風による倒木などが起こる前の処置が必要と考えている。

近接住宅の倍を超す緑地樹木

庁舎と福祉会館の耐震システムを見直すべき

斎藤康夫（市民会議）

基本設計案は、新庁舎が免震構造、（仮称）新福祉会館が耐震構造である。免震構造の新庁舎にいる職員と比べ、耐震構造の（仮称）新福祉会館を利用するハンディキャップを持つ市民の安全性は劣る。市民の安全性を軽視するのかとの疑問に答えることができない。(ア)耐震構造は地震の揺れがそのまま伝わる。利用者の心身へのダメージをどのように考えるのか。(イ)超高層ビル以外で、免震と耐震の組合せの事例はあるか。(ウ)異例な建築物を決定した人間の名は残る。市長は100年間使うと言っているが、耐えることはできるのか。

部長　(ア)建設費の抑制を図り、早期竣工の声にも応える方策との認識である。耐震安全性の分類で、社会福祉施設の構造体はⅡ類となっているが、Ⅰ類とする方向で整理している。(イ)組合せの事例は、今は具体的に言えるものはない。

市長　(ウ)様々な検討を重ね、市民や市議会の意見を頂きながら熟慮を重ねた。私としては、現状の基本設計で進めたいと考えている。

■その他、「都市計画マスタープラン見直しに当たって、税収を見据えた議論をすべき」として、他市より少ない固定資産税を考慮し、見直すべきと提案しました。

国民健康保険税は値上げより負担軽減を

たゆ久貴（日本共産党）

国民健康保険税が高過ぎることが原因で市民生活が脅かされている。現在、多摩26市で1番高い税額なのに、毎年値上げをするような計画を策定し、4月から更に値上げをしようとしている。一方で、市民負担を抑えるために市が負担する一般会計からの法定外繰入れの額はワースト2位の低さであるのに、更に削減を進めようとしている。重くのしかかる値上げは行うべきではなく、繰入れの削減と値上げの計画は撤回し、繰入れを増やし、負担を軽減することこそ必要ではないか。(ア)子育て世代の均等割の部分を免除し、負担軽減を行うべきではないか。(イ)新型コロナウイルスの影響により収入が減少した方に対し、保険料や窓口負担の免除制度をもっと周知し、積極的に活用することが必要ではないか。

部長　(ア)市民に負担増をお願いすることは大変心苦しく感じているが、値上げはせざるを得ない。財政健全化計画に沿って、引き続き繰入れの削減に努める。子育て世代の負担軽減は、国が制度として盛り込むものであると認識している。(イ)減免の制度については、相談があれば話を聞き、中身を確認して審査した上で適否を判断している。

悲劇的に広場が少ない基本設計案は見直しを

渡辺大三（情報公開）

❶新庁舎及び（仮称）新福祉会館建設基本設計案について。悲劇的に「ひろば」空間が少ない。市民の立場に立って見直しが必要ではないか。3千㎡の目標設定を。また、（仮称）新福祉会館も免震構造にしていくべきではないか。大きな揺れが来た場合、福祉会館には高齢者や障がい者も多く、死者が出る恐れがある。人道的観点からも、別々の耐震システムを採用するのは説明がつきにくい。

部長　（仮称）新福祉会館及び「ひろば」の件も含め、パブリックコメントでは151人もの方から意見をいただいた。現在、詳細な分類・分析を行っている。

❷時間外抑制や業務改革のためのＲＰＡ推進体制の早期確立に向け、市長自身がリーダーシップを。

市長　業務処理を大きく変革するものであり、トップダウンで方向付けをしておく必要がある。

❸(ア)市長は、市議会議員選挙で、いつ、いくら、どの市議会議員（候補者含む）の後援会に現金を供与したのか。(イ)市長は今後も現金供与を続けるのか。

市長　(ア)寄附金の公開については、受領した政治団体が政治資金規正法に基づき処理している。(イ)現状、特別な判断はしていない。

小金井市いのち支える自殺対策計画ができて

田頭祐子（生活者ネット）

❶小金井市の年代別の自殺者数は20代がトップであり、東京都や全国の割合の平均を上回っている。(ア)この計画策定の趣旨、数値目標、重点目標は。(イ)各課の事業との関連は。どこがどのように進めるのか。(ウ)ゲートキーパー養成講座は今後どう広げるのか。(エ)子ども・若者世代への支援施策とその所管課は。

課長　(ア)国や東京都が掲げる数値目標との整合を図るため策定し、令和8年度までに自殺死亡率を平成27年度比で30％以上減少させることが数値目標である。重点は若者対策である。(イ)幅広い生きる支援の事業を盛り込むことが望ましいとされている。各所管課がＰＤＣＡサイクルを徹底して進める。(ウ)これまでの6年間で、市民・職員計335人が受講した。更に、民生委員や各事業所職員にも協力を求めたい。(エ)学校では、いじめの未然防止やＳＯＳの出し方の周知など、誰かに悩みを打ち明けられるような支援に努め、学校以外では、公民館の若者講座やフリースペース等、居場所づくりの支援、東京都の無料相談「若ナビα」の案内など、情報提供に努める。各事業の所管課が担当する。

■その他、生活保護の職員体制などを確認しました。

学校給食への地場野菜活用を次の段階へ

湯沢綾子（自民党・信頼）

新型コロナウイルスの感染拡大防止に係る臨時休校に伴い、給食用食材の販売にご協力頂いている関係者や市民の皆様に心から感謝を申し上げたい。(ア)ここ数年、給食への地場野菜活用の取組により、地場野菜の利用率は大きく向上してきたが、ここで満足することなく更なる推進を。関係者の理解を得て進められるよう、今年度行われなかった目合わせ会の復活や、調理員からも意見を伺う場を作って欲しい。(イ)関係者の連携強化なども相当行ってきた今、次なる段階に進む時が来たのではないか。給食への地場野菜の活用は、農業振興施策としても実効性があり、現に意欲的な生産者による新たな取組の動きや、新規に野菜生産を始める農家も出てきている。先進市である日野市や小平市に学び、補助制度の導入を実現すべき。

部長　(ア)学校関係者、ＪＡ、農業関係者等が意見交換できる場として重要な意見交換会を実施するとともに、調理員が参加する方法等も検討していきたい。(イ)新年度には、三鷹市も地場野菜導入への支援を開始する。小金井市でも、都市農業振興の観点から、何らかの支援策を検討する段階に来ていると考えている。

公立保育園民営化の撤回を求める

水上洋志（日本共産党）

公立保育園の民営化について問う。(ア)保育計画の策定スケジュールはどうなるのか。(イ)市長は、施政方針において、民営化のスケジュール等の必要な見直しを行うと述べたが、どう考えているのか。(ウ)保育計画の策定を優先するとしているが、計画を作ってから民営化について考えるという理解でよいか。(エ)保育の受皿は増えたが、保育士不足で受入れが進んでいない現状がある。また、保育の質が守られない事態があると思うが、どう考えるか。(オ)待機児童解消と保育の質の向上に全力を挙げるべきであり、民営化は白紙撤回すべき。

部長　(ア)本年12月を目途と考えている。(イ)大変厳しい状況で、必要な見直しを考えている。(ウ)保育計画策定に注力したい。(エ)保育士不足とならないよう進めていく。また、保育の質ガイドラインの活用により、保育の質の維持向上を図る一助となると考える。

市長　(オ)多様化する保育ニーズに応えるために民営化は今後も進める。

■その他、ＣｏＣｏバス再編事業による運行基準やルートの再編計画は、サービス縮小の計画であるとし、サービス拡充と市民説明会の開催を求めました。